

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
国語	38	光村	○単元数8、大きな教材数17程度。領域別教材一覧により重点的に学習する内容が示されており、生徒にも教師にも分かりやすい。学年に応じた系統性のある単元名がつけられ、整理されている。 ○巻末資料の「語彙ブック」で単元ごとに学んだ語句や、関連した表現が観点ごとに収録され、語彙の量を増やすことに有効である。 ○「学びへの扉」が横書き1ページになっており、学習の見通しが持ちやすく、流れがわかりやすい。 ○「学びのカギ」に語彙を広げる工夫や、文章の読み取り方が示されており、スムーズに課題解決学習に導くことができる。また、単元の振り返りができる。 ○挿絵、写真は色彩や大きさが適切である。資料として使われている図表や統計は精査されていて、生徒の思考を深めるのに有効である。 ○持続可能な社会の創り手を育成するために、SDGsを題材とした特設教材を設けている。今日的な諸課題に即した情報を用いて、「情報と情報との関係」を扱う「思考のレッスン」と、「情報の整理」を扱う「情報整理のレッスン」を設け、練習問題を通して実践的に知識や技能を習得できるように配慮されている。 ○適切な言語活動も示されており、二次元コードを読み込むと生徒の活動例動画が示されたり、新出漢字については筆順まで丁寧に解説したりしている。また、小説の作者のインタビューが入り、生徒の興味関心を引き出す工夫もされている。さらに CBT 形式の問題に取り組み、生徒が自己採点、自己評価をできるようになっている。 ○教科横断的な視点を踏まえた活動が設定されており、根拠に基づいて書く単元がある。また、「言の葉ポケット」で自分が伝えたいことに適した表現を探す支援をしている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
書写	3 8	光村	・文字指導が1年に多く、学年を追うごとに日常化や文字文化の扱いを増やすなど、発達段階を踏まえた配列になっている。 ・「書写ブック」(練習ページ)が別冊で扱いやすく、学びの積み重ねも見える。 ・全教材に「学びのカギ」を設け、他の文字を書くときにも普遍的に活用できる基礎・基本、原理・原則を明確に示している。 ・巻頭に「中学書写スタートブック」と銘打ち、書写の基礎・基本をわかりやすく示している。 ・全ての単元で「考えよう 確かめよう 生かそう」の問題解決的な学習の流れになっており、生徒が見通しをもって取り組める構成になっている。 ・「防災フェスタ」など社会生活まで、書写で得た知識および技能を生かせる学習活動が設定されている。 ・「全国フォント見つけ隊」や「ユニバーサルフォント」等のコラムで言語文化に目を向けさせる工夫がされている。 ・二次元コードのコンテンツ数が4 6 3あり、特に生徒の自発的な学習が促されるような動画が多くある。 ・巻末資料が項目ごとに分類されており、生徒が自分で調べて活用できる資料となっている。 ・基準文字に力強さがある。 ・本時の学習箇所が朱墨で書かれており、学習しやすい。 ・挿絵の生徒の写真やイラスト、色使い等に多様性・UD への細かな配慮がなされている。 ・行書の導入では、行書の特徴を生徒が体験の中から見つけていく学習活動が設定されている。 ・楷書と行書を比較できるように「緑」を並べ掲載しており、さらに一文字で全ての行書の特徴を押さえることができる。 ・楷書と行書の使い分けを場面に応じて選択して書くことを理解できるようにしている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
社会 (地理的分野)	2	東書	○単元・題材の構成及び内容の取扱いについて、大分スタンダードである毎時間の学習課題からまとめにつながる学習スタイルがとりやすく、授業において取り組みやすい構成となっている。また、単元はじめに見通しを持たせるための「探究の視点」が明示されており、課題をつかんで学習を進めやすくなっている。そのため、共通の視点による協働的で深い学びにつなげやすくなっている。 ○挿絵・図表・統計等の資料として、二次元コードを利用した外部サイトへのつながりを各社とも採用しており、「学びに向かう力、人間性」について最新のデータや資料を参考にできる準備がされている。 ○世界と日本の地域構成については、世界の様々な地域、日本の様々な地域との内容バランスがとられており、地理的分野を学ぶ上での基本的な「知識・技能」に関わる力を習得・定着させるために効果的であると考ええる。 ○世界の様々な地域については、それぞれの地域ごとに、人々の生活を自然及び社会的条件として「気候と暮らし」「伝統的な生活と変化」「人々の生活と宗教」という配列で示しており、他地域との比較等による考察ができるようにしている。 ○日本の様々な地域については、各社とも九州地方から北海道地方へと学ぶ中で、最初の九州地方に、「自然を生かした生活や産業」の内容として、別府温泉や湯布院温泉、八丁原発電所を記述や写真資料として使用しており、学習内容として身近な教材として活用しやすい。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
地図	4 6	帝国	○単元・題材の構成及び内容の取扱いについては、単元構成はおおむね両社とも教科書の単元順が同じことからそろっている。その中で、地理的な見方・考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域の地理的認識を養う上で、十分な資料や図表がある。 ○多くの資料が掲載されている中で、地理的分野の教科書と比べ、表紙に厚みがあるが軽量である。また、八丁原発所など県内の資料も掲載されており、学習内容を身近に感じるきっかけとなる。 ○地理的分野の目標である、「思考力、判断力、表現力等」について、「地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、他遠的多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて攻勢に洗濯・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論する力を養う」ことに関わるための資料が適切かつ十分に準備されている。 ○また、「学びに向かう力、人間性等」に関して、各ページに、学習内容に関わる二次元コードが準備されており、さらに身近な内容（郷土との関り）を探る為の準備がされている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
社会（歴史的分野）	2	東書	○小学校の学習内容を踏まえて、各章の導入部分に2ページを使い、「みんなでチャレンジ」で、グループで協力しながら対話的な学習に取り組めるように工夫されている。また、歴史の流れがわかるイラストや年表、今後の学習のポイントとなる活動がわかりやすく提示されている。 ○時代の流れやつながりを捉えやすく、その特徴が政治・経済・社会・文化ごとに把握できる構成となっている。 ○見開き1ページに学習課題に対する「チェック＆トライ」という二次元コードがあり、ICTを活用した学習ができるようになっている。 ○「地域の歴史を調べよう」で、学習の進め方が示され、具体的な学習に取り組めるように設定されている。そのことにより、歴史に対する興味・関心が高められるようになっている。 ○各章、各節、1時間ごとの課題が設定されており、何を考えればよいかが明確になっている。 ・各章の導入では、探求課題と探求の流れが示されており、学習の流れが捉えやすい。 ・各節の問いが設定されており、大きな学習の見通しが持ちやすい。 ・1時間ごとの学習が見開き1ページに収められ、学習課題も設定され、学習もしやすい。 ○章末には、探求課題を振り返る活動が設定されており、生徒自身が思考ツールなどを活用し、学習内容を整理しやすくなっている。また、思考力・表現力・判断力を高める工夫もされている。 ○レイアウトが整えられて見やすい。写真や資料が充実しており、さらに資料と本文の内容に関連性を持たせ、生徒の興味・関心を喚起する内容になっている。 ○1時間単位で学習する内容のうち、二次元コードにアクセスすることでポイントとなる資料が表示され、生徒が学習しやすくなっている。 ○「歴史のまとめ」で、持続可能な社会を実現するにはどうしたらよいかを日本の環境エネルギー、人権・平和・伝統文化・防災安全・情報技術などのテーマを示し、取り組みの様子なども記載されている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
社会（公民的分野）	2	東書	○教科書で使用しているすべての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用し、また、小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用している。 ○見開き 1 単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→ 1 時間を貫く問いである『学習課題』→『本文』→ 1 時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで資料も含め構造化されていて、分かりやすい。 ○本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」が本文ページに多く配置され、単元のまとめには「ワードチェック」があり、理解を促しやすい。 ○各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」があるので、思考を整理し学びを深められやすい。 ○小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーがあり、対話的な活動が効果的にできやすい。 ○地理や歴史での学習内容をふまえて、我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状を捉え、解決に向けての意識が高められるように工夫している。 ○「インタビューコラム」を設け、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようになっている。 ○本文を補完する資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」が本文にも付されているので効果的な学習ができやすい。 ○各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けられ、QR コンテンツから既習事項を振り返るなど、小学校での 4 年間の社会科学習に中学校での 3 年間の学習を重ねた「7 年間の社会科学習」を系統的に展開できるようになっている。 ○理科、道徳、家庭科など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークが付けられ、QR コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、教科を横断して多面的に学習を深められるようになっている。 ○展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツが多い。 ○まとめのページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどがあり工夫されている。 ○第 2 章の導入の活動「ちがいのちがいで身近な事例から人権について考えさせるとともに、インクルージョンについて考える活動を設けることで、人権意識を高められるようになっている。 ○第 1 章で情報化について扱うとともに、「もっと知りたい！」で AI や VR などの新しい情報技術による社会の変化について取り上げられ、具体的な事例から情報・技術について理解できるようになっている。 ○新聞記事が豊富に掲載され、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して養える。 ○選挙権・国民投票権の満 18 歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを豊富な資料とともに憲法改正や選挙に関する記述を掲載することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようになっている。 ○QR コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、多くのデジタルコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習をすることができる。

種 目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
数 学	2	東書	【単元・題材の構成及び内容の取扱い】 ・総単元数：23（1年：8 2年：7 3年：8） ・1年：整数の性質を0章として算数から数学へとスムーズに接続している。 ・3年：2次方程式の解き方の順（平方根の考え方 解の公式 因数分解） ・小単元ごとに「基本の問題」というページが設定されており、取り組みやすい。 ・各ページの問いに印で、必ず解いてほしい問題が示されており主体的な学習に適。 ・数学的な表現を用いて求め方を説明する問題数107（1年：47 2年：34 3年：26） ・「Q」に「説明しよう」「調べてみよう」「振り返ろう」「考えてみよう」等の表現があり、思考力・判断力・表現力を育む学習が促されている。 ・これから学ぶことについて、見通しをもって学習を進めていけるように学習内容ごとに「学習課題（めあて）」が与えられており取り組みやすい。 ・キャラクターの吹き出しがあり、「見通し」や「ヒント」が示されている 【資料等】 ・巻頭に「デジタルコンテンツの使い方」「大切にしたい数学の学び方」「数学マイノート」を示している。 ・単元末に2つの難易度で構成された「章の問題」、巻末に「補充の問題」「数学の自由研究」を設定している。 ・2次元コードからの多くのデジタルコンテンツを利用できる。 【挿絵・図表・統計等】 ・章ごとにインデックスがあり、検索が容易である。 ・各学年の巻末に、小学校から中学校、そして高等学校へのつながりを示している振り返りがあり、いろいろな学年で問題を解決するときに使った考えの共通点を確認できる。 【データの活用】 ・デジタルコンテンツの活用で、授業の導入で「解説動画」、授業の活動の中で「シミュレーション」、演習で「フラッシュカード」といろいろなコンテンツがあり、効果的。 ・絵や図、表やグラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数26（1年：17 2年：6 3年：3） ・1年では統計的に問題解決する方法（PPDAC）が理解できるようにし、2年では（PPDAC）を深めるために、リアルデータを用いての「現実の問題解決」が経験できる。 （P 問題把握 P 計画 D データ収集 A 分析 C 結論） 【数学的活動】 ・日常の問題や社会の事象に関する問題数は比較的多く、バスケットボールの試合のシュートの本数、時間と水槽にたまる水の量、時間と水の温度、ジェットコースターの進ようす、くじをひく順番、タブレットで地図を拡大する問題などがある。 ・数学的活動の問題数：日常の事象や社会の事象から65 数学の事象から219 【小学校との接続】 ・1年の0章に「算数から数学へ」小学校の学習の振り返りができ、数学の学び方を身につけることができる。小学校の復習のページ「学びのベース（まとめ編）」が4ページある。そこで、分数の計算や比の値、速さの公式が朱書きで示されている。 ・「学びのベース（たしかめ編）」で小学校の学習が復習できる。 ・「数学の目で振り返ろう」で小中の学習内容のつながりを示している。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
理科	6 1	啓林館	学習指導要領に示された内容をもれなく扱い、教科の目標を十分に達成できるように 1 分野（化学・物理）2 分野（生物・地学）の単元がバランスよく構成されている。 資料については、新しく正確である。さらに、二次元コードからアクセスできるものが多く、観察・実験動画、補充問題、ワークシート、Web リンク等が表示され、生徒の自主的・自発的な学習を促す工夫がされている。 自然災害の取り扱いについては、各学年の学習内容との関連が図られており、防災教育の立場から、調査・レポートづくりなどの生徒の活動を取り入れて構成されている。 問題を見出し、観察・実験をとおして、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動が充実している。また、探求の過程をわかりやすく表示することで、生徒の主体的な学びを促している。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
音楽（一般）	27	教芸	デジタルコンテンツ数が豊富で、ワークシートのPDFもある。また、合唱の伴奏や演奏動画が多く示されていて生徒の興味関心を引き出す工夫がなされている。また、創作ツールでは、どの生徒にも無理なく効果的に作曲が進められ、個別最適な学びにも適している。 表現の工夫では、主体的・対話的で深い学びの手立てとして、思考をうながすヒントが楽曲ごとに示されている。ミニ知識や工夫の仕方も豊富に示されている。 歌詞や楽譜の配置の仕方に工夫があり、写真中の歌詞や文章は、白文字を使用するなど、誰もが読みやすくなるよう配慮している。 鑑賞教材では参考楽譜で、聴きどころのポイントを押さえた例示ができています。また、感じ取ったことを主体的に書き込めるように発問を工夫し、ヒントを掲載している。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
音楽（器楽合奏）	27	教芸	・楽譜のレイアウトや誌面がすっきりとなるよう、情報の掲載数やイラスト、写真など見やすく工夫されている。 ・QRコードで伴奏が出せることで、自主的・自発的な学びにつなげやすい。 ・「学びのコンパス」で思いや意図をもって表現するための活動が4箇所取り入れられている。 ・基礎的・基本的な奏法を無理なく身につけられるよう、奏法を分かりやすく示したり、興味をもたせるための資料を豊富に掲載したりしている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
美術	3 8	光村	・ 構成やページの色使いなどが3社の中で最も生徒の目を引き興味関心を引きやすい。 ・ 生徒にとって身近な「大分の作品」が最も多く掲載されている。 ・ 別冊資料が充実しており、資料集を購入する必要がない。 ・ 3社の中で最も画質が良い。また、日本の絵画については、紙質を変えるなど工夫されている。 ・ デジタルコンテンツでは、書き込みができることにより作品の理解が深まる。 ・ 制作のプロセスの図版が3社の中で最も多く掲載されており、生徒が発想・構想をしやすい。 ・ 鑑賞活動を広げ、豊かにするために印象や気持ちをあらわす言葉を多く掲載するなど言葉を大切にした教科書づくりをしている。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
保健体育	224	学研	○単元・題材の構成は、「体育編」「保健編」の順に学年別に配置されており、1時間見開き2ページを基本構成とし、1時間当たりに取り扱う量が適切である。 ○各章の冒頭「扉（とびら）」の部分において、小学校で学習したこと及び高校で学習することを示しており、校種の接続を考慮している。 ○1時間の学習の流れは「ウォームアップ」→「学習の課題・キーワード」→「エクササイズ」→「学びを生かす」を基本とし、課題の発見から基礎・基本的な知識の習得、課題解決、知識の活用や探究という主体的・対話的で深い学びができるような構成になっている。 ○「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を随所に配置し、学習したことを発展させ、深める工夫がなされている。 ○体育編では、スポーツへの関わり方や楽しみ方について、また、オリンピックやパラリンピックなどの国際的なスポーツ大会を通してスポーツの意義や役割などについて考える工夫がなされている。 ○保健編では、動画やワークシートなど学習の参考となる資料に繋がる2次元コードが豊富に準備されており、生徒が興味・関心をもって取り組みやすいものになっている。 ○体育編・保健編のいずれも章末に問題（章のまとめ）が設けられている。 ○目にやさしい色合いの用紙を使い、書体は、本文や見出し、資料においてユニバーサルデザインフォントを使用するなど、読みやすさに配慮している。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
技術・家庭（技術分野）	9	開隆堂	○各内容ともに、第1章は「生活や社会を支える技術」、第2章は「技術による問題解決」、第3章は「社会の発展と技術」の3つの要素に沿った章の構成となっており、課題解決や発展的な学習を進めるための手がかりとしてよく工夫されている。 ○「課題の設定」から「振り返り」や「深い学び」まで、主体的に問題解決をする生徒を育成する一連の流れで構成されており、課題も具体的で豊富に用意されている。 ○授業者が取り扱う内容に応じて、幅広く対応できるように豊富な資料が用意されている。 ○実習例が加工方法や作業工程、材料ごとにまとめられており、分かりやすい内容となっている。さらに、社会的・環境的・経済的側面から生活と技術のかかわりが詳しく示されている。 ○材料と加工の技術に関して、木材・金属・プラスチックという材料ごとに加工方法を学習し、それらを複合して製作する題材が豊富に用意されている。 ○生物育成の技術に関して、動物・水産生物・森林の学習内容も充実している。 ○情報の技術に関して、プログラムの構造と表現などの基礎的な内容から扱っている。 ○教科独自の4項目のうち、3項目で最も優れていた。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
技術・家庭（家庭分野）	2	東書	・ 単元・題材の構成及び内容の取り扱いにおいて、小單元ごとに「目標」「学習課題」「キーワード」「レッツスタート」「生活に生かそう」「まとめよう」「いつも確かめよう」の項目が掲載され、学習の流れが授業に即したものになっている。 ・ ユニバーサルデザインの観点からみても、教科書のルビふりが最も多く、それぞれのページにタブ（章のタイトル）があり、開きやすいなど配慮が感じられる。また、教科書に使われているマーク（他教科との関連、小学校等）が、わかりやすく表示されており、既習事項としての押さえがしやすく、他教科とのつながりも意識させやすいつくりになっている。 ・ 資料では、二次元コードからつながるコンテンツ数が 373 と最も多く、ワークシートや思考ツールなどもあり自主的、自発的な学習を促し、個別最適な学びにも対応しやすい。また、基礎的、基本的技能に関する図や写真等の資料がより見やすく、丁寧で、授業の流れに沿った配列である。 ・ 教科独自の観点では、基礎的、基本的技能が丁寧に掲載されており、実習例も豊富で生徒が実生活で活用しやすい内容になっている。衣生活では布を用いた製作の実習例は 14 と最も多く、衣服の選択と手入れは、実物に近い写真やイラストが多く掲載されている。食生活では、豊富な実習例が鮮明な写真とともに紹介されており、生徒の関心・意欲を高めるような工夫がある。調理実習例のすべてにアレルギー表示があり、アレルギーに対する配慮がなされている。 ・ 全体的に見て、教科の専門性である実習を行うにあたって、より丁寧で、実践しやすい内容である。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
英語	9	開隆堂	1年生では身の回りの人やものについて、2年生では生活に密接する話題について、3年生では社会的な話題についての教材を配置し、段階的に学習内容を積み重ねていく構成となっている。また、パジャマデーを扱った教材やラーメンのCM作成をする活動など、生徒の興味・関心を高め、言語活動を充実させるような題材が掲載されている。 1年生の教科書では年度当初の6時間で小学校の学習内容を振り返ることができる。また、最初の単元でbe動詞を扱い、次の単元で一般動詞を扱うよう配列されていることで、文法学習における混乱も少ないと考える。 小学校で慣れ親しんだ絵や動画を見ながら対話を聞く活動を通して、場面の中で新出表現を学ぶことができる。

種目	発行者		選 定 理 由
	番号	略称	
道徳	116	日文	○道徳の単元・題材の構成について (1) 読みもの教材の数は各学年とも 35 本であり、年間指導計画に沿った数である。 (2) 5 月、9 月、1 月頃に「いじめと向き合う」をテーマとした教材やコラムを連続して掲載していたり、「よりよい社会を考える」(SDGs との関連)をテーマとした教材を複数掲載しているなど、年間を通じて適切な時期での教材配置となっている。 ○道徳の内容の取扱いについて (1) 教材名の前に指導内容の 4 つの視点をマークで分類し、学習のキーワードを平易な言葉によって明記しているため、学習目的が明確である。 (2) 道徳の学習の進め方について「気づく」「考える・議論する・深める」「見つめる・生かす」という段階を追った方法が示されている。 (3) いじめ問題や情報モラル、多様性の尊重などの今日的課題について扱っている教材数が最も多い。 ○授業展開において効果的である点について ・各教材の終わりに「考えてみよう」と「自分にプラス 1」という発問が設定されており、授業での学びを深めたり、自分自身の生き方を見つめ直したりすることができる。 ○別冊ノートについて (1) すべての教材について、1 ページで完結できる仕様になっており、生徒一人ひとりの学習の成果が把握しやすい。 (2) 「発問」の欄が空白になっており、指導者がねらいに迫る発問を自由に設定することができる。 (3) 生徒一人ひとりが他者の意見と比較・検討したり、自己の変化や成長を振り返ったりすることができる欄も設定されている。 (4) 指導者は、ノートを確認することで生徒一人ひとりの変化や成長をとらえ、個人内評価(個々の状況や成長度合いの見取り)を行うことができる。 ○二次元コードについて ・すべての教材に用意されており、朗読音声や画像、関連資料、外部リンクへの接続など、数、種類ともに豊富である。 ○その他 (1) コラム「あすへのメッセージ」欄で多くの著名人の生き方やメッセージを紹介している。 (2) 大分県に関わりのある人物が掲載されている。 例：坂 茂(大分県立美術館) 中村 裕(別府市太陽の家)